

かわさきパラムーブメント推進フォーラム 平成 28 年度 第 1 回分科会 議事録

日時 平成 28 年 11 月 10 日（木） 14 時から 16 時

会場 中原区役所 5 階 505 会議室

出席者

かわさきパラムーブメント推進フォーラム 大塚委員、菊地委員、北西委員、島委員、瀬戸山委員、中澤委員、中村委員、北條委員、横島委員
事務局 唐仁原市民文化局長、原オリンピック・パラリンピック推進室長、山本担当課長、佐藤課長補佐、鴻巣担当係長、木田担当職員

傍聴者 なし

議事

1. 市民文化局長あいさつ
2. 出席委員紹介・事務局紹介
3. かわさきパラムーブメント推進ビジョン（第 1 期）の進捗状況について
4. 英国チーム事前キャンプ受け入れに向けた現況について
5. その他【非公開】

開会

（山本担当課長）

ただいまから「かわさきパラムーブメント推進フォーラム 第 1 回分科会」を開催いたします。本日は分科会でございますので議事の進行は事務局である市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室担当課長であります私山本が担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、本日の議事でございますが一部非公開となっております。傍聴の方は非公開の議題となりましたらご退席していただけますようよろしくお願いいたします。

次に本日の出席委員は別紙 2 の委員名簿の方の 9 名となっております。ご欠席の委員のうち、山田会頭に代わりまして、川崎商工会議所の方がオブザーバーとして出席をしておられます。また会議議事録の作成など事務局の補助をお願いしている業者の方も会場内に同席しております。会場会議中に会議の様子などを撮影させていただき市のホームページに後日掲載させていただきたいと思っておりますのでよろしくご了承ください。

まず配布資料でございます。

- 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト外部連携会議開催運営等要綱
- 平成 28 年度かわさきパラムーブメント推進フォーラム委員名簿
- 資料 1 かわさきパラムーブメント推進ビジョン（第 1 期）の進捗状況について
- 資料 2 かわさきパラムーブメントリーディングプロジェクトの取組状況について
- 資料 2 参考 2016 年度進行中リーディングプロジェクト一覧
- 資料 2 関連資料

- 資料3 東京2020オリンピック・パラリンピック 英国代表チーム事前キャンプ受け入れに向けた取組状況について
- かわさきパラムーブメント推進ビジョン概要版
- かわさきパラムーブメントシンポジウムチラシ
- ユニバーサルマナー講演会チラシ

1. 市民文化局長あいさつ

(山本担当課長)

それでは次第の1でございます。今年の4月にオリンピック・パラリンピック推進室が新設され、事務局も総合企画室から市民文化局に代わりましたことから、市民文化局長からご挨拶させていただきます。

(唐仁原市民文化局長)

唐仁原でございます。この4月1日付けで組織委員の変更がございまして、昨年度は総合企画局という所で担当しておりましたが、4月になりましてこのオリンピック・パラリンピック推進室という部相当の組織を作りまして、また主管も市民文化局という新しい部局名に変わりがして、スポーツ・文化含めて主管をする局ということで新しくスタートいたしました。

私も昨年度は総合企画局の方で担当部長として担わせて頂きましたが、新しい局の局長として参加するということとなりました。後ほどの説明の中でもあります。これまでの取り組みですとか、この2月8日に記者発表等を行いました。英国チームの事前キャンプが決まり、10月に市長と山田会頭と議長、事務局も含めて英国の方に視察に伺い、そちらの組織とも打ち合わせをいたしました。ついては後程そのご報告を併せて行わせていただきたいと思います。今回少しだけ時期が遅くなりましたが第1回ということでこの分科会を開催させていただきました。また、年内もう1度開催させていただく予定にしておりますけれどもよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございます。

2. 出席委員紹介・事務局紹介

(山本担当課長)

唐仁原局長ありがとうございます。続きまして次第2に参ります。団体役員の交代に伴い、フォーラム委員のおひとりに変更がございましたので一言ご挨拶をいただければと存じます。川崎市スポーツ協会の北西委員、よろしくお願い致します。

(北西委員)

みなさまこんにちは。今年の4月から川崎市スポーツ協会の事務局長になりました北西と申します。前任は五島という者が担当していたのですがけれども、今回から私の方が担当させていただきますのでよろしくお願い致します。

(山本担当課長)

北西委員ありがとうございます。事務局につきましても新組織となりましたので、室長の原から組織全体のご紹介をさせていただきたいと思ひます。

<原室長より職員紹介>

(山本担当課長)

なお組織の変更に伴い今会議の設置要綱の一部も変更しております。別紙1を後程ご確認いただきたいと思ひます。

それでは議事に入りたいと思ひますが、唐仁原につきましてはこの後の公務がございますのでここで退席とさせていただきます。

<唐仁原局長退席>

3. かわさきパラムーブメント推進ビジョン第1期の進捗状況について

(山本担当課長)

では、次第の3、「かわさきパラムーブメント推進ビジョン第1期の進捗状況について」です。まず資料1に基づいて11月までの全体の取組状況をご報告し、続いて資料2に基づきリーディング事業の取組みについてご報告させていただきます。

<資料1説明>木田職員

(山本担当課長)

ただいま川崎市の取組みをご説明させていただきましたが、ここで委員の皆様からの質問やご意見感想といったところでも結構ですので、どなたかご発言いただければと思ひますが、よろしくお願ひ致します。

(大塚委員)

まちづくりの部分で等々カアリーナのバリアフリー化工事及びトイレの洋式化改修工事というのがありますが、これはもう既に設計プラン等とも決まって着手しているということなのでしょうか。

(山本担当課長)

実際には閉館をしなければいけないところがありますので、年明けに工事に入るということを伺っております。

(大塚委員)

トイレの数とかそういったものは増えたりするのでしょうか。

(山本担当課長)

基本的にはまず洋式化とすることと、一番は点字ブロックなどの設置ということで数自体増減はないということになっております。

(島委員)

今のまちづくりのことなのですが、こちらは市の取組みの他に、私がSNS等で見ると民間努力でバリアフリー化を進めていらっしゃる川崎市内のホテルがあるという事が話題になっていると思ひます。市の方でそういう民間努力をすくいあげて市民に広くPRしてさしあげるのはいいのではないかとと思ひましたので、是非この取組みの中に入れていただければと思ひます。

(山本担当課長)

ありがとうございました。では資料2のご説明をお願ひ致します。

<資料2・資料2参考説明>鴻巣担当係長

(山本担当課長)

ただいま、資料2に基づきましてリーディングプロジェクトの取組状況、それから一覧ということで資料2の参考資料を添付させていただきました。ここでそれぞれご提案をいただいた委員をはじめ、質問とかご意見とか場合によっては感想的なことでも構いませんので、委員の皆様の方から少しお話をいただければと思います。

(中澤委員)

資料2の「アクセシブルシティかわさきプロジェクト」の「ユニバーサル講演会」のご紹介がありました。今後具体的なもっと講習会という形で進めていく予定はありますか。

(山本担当課長)

今回は川崎市の職員自身が受講者となる立場でございますので、市と川崎商工会議所様で1回目はコラボレーションでやっていこうという取り組みでございます。2回目についてまだ具体的にどうしていこうという検討はしていないのですが、まだまだ障害者差別解消法のことをよくわからない、というようなところもあるかもわかりませんので、そういったところに、どういう風にこの法律の趣旨ですとか考え方を伝えていったら良いかということを考えていきたいと思っております。

(島委員)

3点申し上げます。まず「パラスポーツやってみるキャラバンプロジェクト」ですが、良いタイミングで是非福田市長にも体験に入ってくださいという事をお考えいただければ発信力が高まるのではないかと。お若くてスポーツが似合っちゃる市長なので、ご体験も含め、何かそういうアクションをしていただければと思います。

2点目は「宿泊施設等バリアフリー化促進プロジェクト」及び飲食店のバリアフリーの事で、これから調査するにあたり、これは市内の車椅子利用者の方ですとか障害者の方を広く公募されて、一部でも一緒に、という形でおやりになられるのか、そのあたりをお伺いしたいと思いました。

3点目ですが、「インクルーシブなカワサキハロウィンプロジェクト」について、報道では、川崎市がハロウィンの本家本元という内容が大変多く、また子供が楽しんでいる映像などが多かったと思います。他方、障害者の参加する姿を一般報道ではなかなか観ることができなかったのも、障害者参加者5名ということで大規模ではなかったという事もあります。今後発信される時にそういった特徴性をもたせているという事をもっと押し出していただいて良いのかなあとも思います。今回の体験をもとに障害者を中心とした、あるいは、障害者に限定することなく多様な市民の皆さんが、そもそもフェスティバルやお祭りというのはバリアフリーだと思いますので、みんなで作り上げて楽しんでいるというのをわかりやすく表現していただければ良いのかなあと思いました。

(山本担当課長)

まずはじめの「やってみるキャラバン」には是非市長をというお話でございますが、まさに目からウロコというところなのですけれども、そういう着眼点を持っていなかったところに素晴らしいご意見をいただきましたので是非市長の方には伝えておきたいと思っております。

(島委員)

追加になりますが、この間小池知事が車椅子バスケットイベントを実際に体験され、何十本もシュートを打って、やっとなり得点したという事が結構延々とニュースに流れていて、SNSでもそれに対して

「いいね！」という反応がすごく多かったのです。知事自らという事はたいへんアピール度が高いと思うのと、将来的に例えば川崎市対東京都みたいな、それぞれの首長さんに入っていて試合に持っていくというゴールがあると、参加する側、障害者の方もただやるのではなくてそれを目指して試合、練習を積むとか、そういう設定も出来るのではないかと思います。是非そのリードを、福田市長自らお取りいただければというふうに思っています。

(山本担当課長)

ありがとうございます。続いて2点目でございますが、飲食店の調査には市内の方の参加も是非というお話でございますので、こういった形で市のほうが車椅子ユーザーの方にアプローチしていくかというような部分もございますので、例えば今日来られている身体障害者協会様の方におはかりしてみたいと思いますのでよろしくお願い致します。最後に3点目の「カワサキハロウィン」は先程説明がありましたように、今まではベビーカーや車椅子といったタイヤのついたものがパレードの進行上の妨げになるというところで取り組みができていなかったところなのですが、こうしたことを川崎が誇るカワサキハロウィンでございますので、この機会を情報発信のツールとして活用することについて今後も取り組んでまいりたいというふうに思っておりますのでよろしくお願い致します。

(大塚委員)

宿泊施設の方なのですが実際にヒアリングした中で、何軒ぐらいが車椅子対応の客室があったのかそういったことを今は情報公開されていないのですか。

(鴻巣係長)

最終的に報告書という形で年度末にまとめたいと思っておりますが、今この場でご報告いたしますと20施設調査し、10施設は入口ですとかエレベーターとかがきちんとバリアフリー対応とされていたのですが、残り10施設につきましては古い建物なので途中で階段があったりですとかエレベーターが無い階があったりとか、ユニットバスと客室との段差が20cmあったりなど、建物自体が古いため建て替え以外に対応が難しいという状況でした。

(大塚委員)

うちのNPOでも取り組んでいるのですが、宿泊施設の中でもパラスポーツをやっている方々は結構水廻りの所の段差なんかを自分で行ってしまう方もいらっしゃるもので、そういった時に段差が何センチくらいあるのか、そもそも車椅子が入れるのかどうかだけでもわかると非常に良いので、一般宿泊施設の普通の部屋のところが実際ハード面がどうなっているのかという情報も拾っていただくことによって選択肢が増えると思います。我々車椅子ユーザーは選択肢が少ないので、そういった意味では一般宿泊施設の客室の状況も併せて調べていただくことでより多くの選択肢がとらえられると思います。

(中澤委員)

実は私もこの調査に一部関わっていますのでそのあたりは調べていまして、きちんと整理したいと思います。宿泊できるということでは、ホテルだけではなく例えば高齢者施設なんかで余裕がある所は活用する手もあるかなと。柔軟に考えて、川崎市の場合はビジネスホテルが多く元々シングルなので難しいところはありますが、ユニットバスのバスタブを抜いてしまってシャワーだけだったらスペースも増えて使いやすいかと。柔軟に考えていくといろんなものが広がってくると思います。逆に日本のいい例とアイデアを挙げていくことが出来ると思います。

(鴻巣係長)

先程ご説明しませんでしたでしたが、関連資料でお配りさせていただいている障害者スポーツ体験への取材は少しずつ入り始めております。こういった形で報道にとりあげていただくのも重要かと思えます。

4. 英国代表チーム事前キャンプ受け入れに向けた取組状況について

(山本担当課長)

引き続き、次第4の「英国代表チーム事前キャンプ受け入れに向けた取組状況について」のご説明をさせていただきたいと思えます。

<資料3説明>佐藤課長補佐

(山本担当課長)

「英国代表チーム事前キャンプ受け入れに向けた取組状況について」ご報告させていただきました。この件に関しましてご意見ご質問がありましたらよろしくお願ひ致します。

(中澤委員)

パラリンピックの選手を受け入れる場合車椅子ユーザーが100とかの特別な状況ではあるのですが、例えばバスは人数が揃えられるような特別なバスを用意するのではなくて、今ある物をどう活用していくことも重要かと。昔、長野パラリンピックへ都バスを持っていったためにその後長野には何も残らずレガシーを失ったわけですよ。ロンドンでの例などを整理しながらその中でしっかり進めていくことはどうしたら良いか考えなければいけないと思えます。

(横島委員)

報告のテキストをいただいて見たところ、川崎で、本当にリオでやっていたようなことが出来るのかなとすごく心配なことがあるような気がします。川崎の出来合いのところですとずっとやっているという部分があって、例えば英国のままの雰囲気を作るために船便で家具を全部用意してそれらしい雰囲気を作ったホテルだとか書いてあったのですが、川崎-横浜は車で10分以内の移送経路を考えて川崎でどこまで出来るのだろうという危惧があるのですが、そのへんはどのようにお考えですか。

(山本担当課長)

宿泊施設に関しましては、以前BOAの方が川崎に視察にいらっしゃった時に彼らがエリアと考えていたのは大体30分圏内で探しているという事でしたが、ブラジルの事前キャンプでは条件が良くあまり移動時間がかからなかったという事が彼らにとって学びになったという事で、東京大会の時も移動のロスはなるべく小さいほうが良いねというところで検討を始めていくということになります。大きくは30分圏内という事で探されているところで、BOAさんBPAさんと引き続き調整していきたいと思っております。

(横島委員)

例えば既に売却がすすんでいるのかとは思いますが、サイカヤ跡地にそれなりの総合的なホテルができれば川崎市としても良いのかなと。車でも30分くらいなので、駅前にそういった施設ができれば川崎市のひとつの魅力になると思えます。既に決まっているのではしょうがないのですが、ど

こか空いているところにそういった施設が考えられないのかなと思います。

(山本担当課長)

ホテルとなりますと、公共と民間の役割分担ということになりますが、行政としては福祉のまちづくり条例のとおりで作っておしまいでなくて、開発される方に少しでもそれ以上の対応について声をかけていくということが今できることとなっていきますので、そこは日本全体が東京大会に向かって一丸となって行くんだという事を我々の方で引き出していくということになるかと思います。

(山本担当課長)

最後に、事務局から2点ご連絡いたします。

<2月1日かわさきパラムーブメントシンポジウムのお知らせ>

次回推進フォーラム日程は、来年2月中旬に分科会ではなく推進フォーラムを開催したいと考えております。また調整のご連絡を事務局から送出させていただきますのでご協力くださいますようお願い致します。

また、この議事内容は市のホームページに掲載いたしますので、追って事務局から出席委員のみなさまに発言内容確認のメールをさせていただきます。

ご協力の程よろしくお願い致します。

これにて本日の分科会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会